

6-4

コプロ (小風呂・個風呂・娯風呂・好風呂・康風呂)

『私たちは芋じゃない!』利用者様の悲痛の叫びから

個浴
寄り添う入浴

特別養護老人ホーム フェローホームズ

介護職 和田 宜子

介護職 石橋 ひとみ

東京都立川市富士見町2丁目36番43号

TEL: 042-523-7601

E-mail: info@fellow-homes.or.jp

FAX: 042-523-7605

URL: http://www.fellow-homes.or.jp

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人恵比寿会を母体とする特別養護老人ホームフェローホームズは「家族」をキーワードに平成4年4月に開設いたしました。立川の昭和記念公園の前にあり、緑豊かな駅からも徒歩でこられる場所にある非常に明るい施設です。

〈取り組んだ課題〉

- 入浴ケアの全体の見直し
- 職員の入浴にたいするスキルアップ
- 個浴導入へ向けての検討

〈具体的な取り組み〉

- 現状として、流れ作業的な入浴方法を行っていた。利用者様からの入浴に対する意見が聞かれ、また入浴委員会を中心に疑問を感じ、寄り添う入浴を検討した。
- 第一として
 - 1対1浴の実施 (ただし中介に限る)
 - スタッフ配置の増員
 - 安全に対するスタッフへの勉強会
- 第二として
 - 各フロアに個人浴槽の導入に向けて検討
- 第三として
 - 入浴に関するシステムの整備
 - 入浴責任者の明確化
 - 入浴気づきノートの実施
 - 各利用者様に合った入浴時間等の検討
 - 月に一回のお楽しみ入浴の実施
 - 入浴体験の実施
 - 入浴担当スタッフとの情報交換

〈活動の成果と評価〉

- 1対1浴を実施し、事故がなくなった。ヒヤリハットにすぐに気づけるようになった。
- 安全に関するスタッフの意識が向上した。
- 利用者様からはゆっくり入れるとの意見が聞かれ、QOLの向上につながった。
- 介護者からはゆっくり利用者様に対応できるようになったとの意見が聞かれた。
- 責任者としての意識が高くなった。
- 個人浴槽導入への検討を行った結果、入浴に対する意識が向上した。また、意欲の向上も見られた。
- 今まで入浴ケアによく関わる職員のみ知っていた利用者様に対する個別ケアを周知徹底することができるようになった。
- 実際入浴体験することで少しでも利用者様の気持ちを理解し、それを配慮したケアを行うような気持ちになれた。
- 8月から個人浴槽での入浴を実施することができた。(予定)

〈今後の課題〉

- 個人浴槽を8月に導入予定。実際稼働し始めての課題点、利用者様のより良い生活のための検討をしていく。
- ハード面の改修とともに、安全面を強調し、スタッフのスキルアップを目指す。
- 入浴面から再度全体において利用者様のQOLの向上を考えていく。